

## 日本遺産「鯨とともに生きる」記念シンポジウム 観光業者やマスコミを対象に東京で開催

(写真) 左「古座獅子」、右「三輪崎の鯨踊」



3日(金)、東京・江東区の国際交流会議場で日本遺産「鯨とともに生きる」の記念シンポジウムが開催されました。主催は熊野灘捕鯨文化継承協議会(会長:岡本圭剛・県商工観光労働部長)。観光業関係やマス

コミ関係の他、官公庁などから150名が出席。オープニングでは伝統芸能の古座獅子と日本遺産「鯨とともに生きる」の構成文化財にも登録されている三輪崎の鯨踊が披露されました。



シンポジウムは、タレントで翻訳家のダニエル・カール氏の基調講演と、パネリストにD・カール氏のほか、仁坂吉伸和歌山県知事、三軒一高太地町長、田川博己JTB会長が参加したパネルディスカッションの二部で構成。

D・カール氏は、「継承していくべき日本の文化」をテーマに次のように語りました。

日本のどういうところが好きかと聞かれると、もう38年以上日本に住んでいますが、答えるのはむずかしい。キーワードは英語の「バラエティ」。特に言葉。私は赴任した先々で奈良弁、北陸弁、東北弁と様々な日本語を学んできた。食べ物の味付けも地域によって色々です。西日本は甘めなだが、東日本はしょっぱい。特に宮崎県のカレーが甘いのは驚きました。日本の国土は私の出身地カリフォルニア州とほぼ同じ面積だが、米国はどこに行っても味付けはそんなに変わりません。Umami(旨み)は今や英語にもなっているほど。日本人はこうしたバラエティを大切にし、もっと自慢の方がよいと思う。謙遜することも日本人の美德だが、時々自慢することも大切だ、とまとめて講演を終えました。

第二部のパネルディスカッション「日本遺産と観光振興について」では、4名のパネリストがそれぞれ次

のように語りました。



【仁坂知事】南紀は鯨を捕るのに地形が恵まれていま

【三軒町長】太地町では鯨の学術都市を目指し、町内に鯨類を 100 頭飼育し、町全体を公園にする構想を打ち立てています。現在、30 年計画の 13 年が経過したところです。町内にはそんなこととして町を潰すつもりかと非難する声もありますが、現在でも常時 40 頭の鯨類を飼育しています。町と鯨との関わりは時代とともに変化しています。捕鯨産業を四国、九州に伝えに行き、大背美流れという悲しい歴史を乗り越えてきま

【田川会長】地域の生活文化を見に行くのが本来の観光です。日本遺産は 37 点にのぼり、世界が日本に注目しています。今後はこの日本遺産をいかに磨いていくかが鍵です。先ほどカールさんは日本がお国自慢をしないと指摘されましたが、260 年間鎖国していた影響がこうした性格につながっているように思います。2020 年の東京オリンピックに先立ち、ワールドカッ

【Dカール氏】人を集めるためにはユニークなものが必要です。4 S がそろると人が集まります。4 S とは、①スポット、②食、③資料（史跡、歴史資料等）、④

す。和歌山の人々は、鯨節や醤油など、物を発明する才能、工夫する才能に優れており、網掛け式捕鯨や役割分担のシステムを開発し、これを地方へと伝えて行きました。また、和歌山の人々は心が優しく、鯨を供養し、余すことなく利用してきました。県内には祭りや踊りなど、鯨の霊を慰めるものがたくさん残っています。これを日本遺産「鯨とともに生きる」として一体としてまとめています。ただ、まずは自分たちが知らなくてはなりません。現在、和歌山なんでも帳という教材を作り、ストーリーを語れるガイドの育成に努めています。

した。昭和には鯨を観光資源として利用し、平成ではこれを学術的に利用していく考えです。また、町ではトイレを世界一きれいにする取り組みを進めています。町内にはベンチが 275 脚あり、季節感のある町を目指しています。平成 23 年には太地駅にエレベーターを設置し、そのおかげで今では急行が停まるようになっています。

ラグビーが日本で開催されます。前回の英国大会では外国から訪れる観客の平均滞在日数は 3 週間。試合は週末に組まれるため、平日にいかにつなげられるかがテストケースになるでしょう。ただし、本当の目標は 2020 年東京オリンピックの後を見据えなくてはなりません。

ストーリー。繰り返しになりますが、自慢心が大切です。

仁坂知事は閉会に当たり、4 S にもう一つの S、ストラテジー（戦略）を加えたいと述べ、共感、協働が必要であるとしてシンポジウムを締めくくりました。

<参考>

[https://japan-heritage.bunka.go.jp/ja/app/upload/heritage\\_data\\_file/032-6798113800663229.pdf](https://japan-heritage.bunka.go.jp/ja/app/upload/heritage_data_file/032-6798113800663229.pdf)